

美桑が丘

小中一貫 学校教育目標「未来につむぐ 自分らしさの創造」

校訓『創造敬愛』

下川町立下川中学校
令和8年度学校だより
第3号 R8. 6. 30発行

前を向いて進める人に

校長 永井 真二

6月6日に中体連陸上競技大会が旭川市陸上競技場で開催されました。本校から1年生の平野陽琉さんが男子400mに出場しました。陸上競技の中でとても苦しいといわれる種目です。試合と一緒に走る他校の選手は、クラブチームに所属している3年生でした。試合中どんなに離されても、決して諦めることなく全力でゴールを目指す姿は、多くの人に感動を与えました。当日は自己ベストを更新できたそうです。ぜひ、来年も挑戦してほしいです。

6月19日と20日には、中体連武道・球技大会が開催され、本校からは男女ソフトテニス部が出場しました。1日目の団体戦で女子が優勝、男子が準優勝しました。2日目の個人戦では女子の黒川・大池ペア、菅野・野崎ペアが入賞しました。また、サッカーのクラブチームで大会に出場した生徒もいます。名寄SCはベスト4に進出です。下川中の生徒は大健闘しています。大会結果の詳細は裏面に記載していますのでご覧ください。

ソフトテニス部と名寄SCは7月3日と4日にソフトテニス部は旭川市で行われる上川管内代表決定戦に、名寄SCは準決勝に出場します。各地区の予選を勝ち抜いた選手が、全道大会出場を目指して試合に臨みます。強豪選手が相手でも決して臆することなく、精一杯練習の成果を発揮してほしいです。

さて、今回の中体連では多くの生徒が「負ける」という貴重な体験をしました。練習も試合も精一杯努力したが負けたということです。長い人生で考えれば、このような体験の方がはるかに多いと思います。大切なのは、負けた時にどう考えるかです。「負けた悔しさ」を忘れてしまったら、いつまでも勝つことはできません。かといって、悔しいから負けを認めず、その原因を誰かのせいにしては、いつまでも変わることはできません。自分が成長して変わるためには、この体験したことを「学び」という経験に変えて、次に生かさなければなりません。負けを受け入れる勇気と、勝った相手を称賛し、相手から多くのことを学ぶ素直さを身に付けることです。

生徒の中には、スポーツは苦手だけど勉強は好きという人もいれば、スポーツは得意だけど、勉強は苦手という人もいます。スポーツが苦手でも部活動に加入し、一生懸命取り組んでいる生徒もいるでしょう。結果に関係なく、最後まで諦めずに全力で走る姿やボールを追う姿は、見る人に感動を与えます。

今回の地区大会は緊張感のある中で1点を争う緊迫したゲームでした。会場の全員がボールを追うペアを見つめていました。試合が終了すると会場から拍手が沸き起こり、選手の健闘をたたえていました。見る人に真剣さが伝わり、感動を与えていたのだと思います。

6月25日と26日には期末テストがありました。勉強もスポーツと同様に、苦手でも全力で取り組める人であってほしいと思います。挑戦を続ける人の前に道は拓けます。たとえどんな結果であっても、その結果を素直に受け入れることができれば、必ず次の活動につながるからです。挑戦しないことには何も始まりません。ゆっくりでも、諦めることなく前を向いて進める人になってほしいと願っています。

■おめでとうございます

○第7回上川北部地区中学生王座決定ソフトテニス大会

- ・男子個人3位リーグ1位 小林純太郎 丹野雄介
- ・女子個人1位リーグ3位 黒川愛美 野崎未雅
- ・男子団体3位 大岡隼 蓑島樹一郎 小林純太郎 丹野雄介
遠藤幸誠 上ヶ島光雅 寺澤隼翔
- ・女子団体3位 黒川愛美 大池いおり 菅野愛叶 野崎未雅
長澤響 田上二笑 更谷和花 渡辺美桜

○第49回ヨネックス杯兼市民ソフトテニス大会

- ・男子個人第3位 大岡隼、蓑島樹一郎
- ・女子個人第3位 黒川愛美、大池いおり



■いじめ未然防止集会

6月9日(火)6校時、本校体育館にて全校生徒を対象とした「いじめ未然防止集会」を実施しました。まず「いじめとは何か」について改めて確認しました。いじめは、相手に心理的・身体的な苦痛を与える行為であり、インターネット上の行為も含まれます。また、暴言や無視、仲間外れといった行為だけでなく、日常の何気ない言動であっても相手を傷つける可能性があることについて学びました。

続いて、平成29年度前期生徒総会で採択された「いじめ撲滅宣言」(下の表)を全校で再確認しました。

下川中学校いじめ撲滅宣言

- 1 私たちは、思いやりの心を大切にします
- 2 私たちは、人によって様々な考えがあることを理解します
- 3 私たちは、公平に人と接します
- 4 私たちは、相手の気持ちを考えて、発言や行動します
- 5 私たちは、人に嫌がることを言わない、しない、書き込みません

さらに、本校で取り組んでいる「いじめの種」について理解を深めました。これは、いじめにつながりやすい考え方や行動のことで、「自己中心的な行動」「怒り・衝動性」「自己弁護」「自惚れ・僻み」「諦め」「誤った見解」などが挙げられます。事前アンケートの結果からは学年ごとに様々な傾向が見られ、いじめは誰にでも起こりうる身近な問題であることを考える機会となりました。

後半は、各学年をいくつかに分けたグループで話し合い活動を行いました。「いじめの種」を減らすために自分たちにできることを考え、「どのような場面でどのように行動するか」を具体的に話し合いました。最後には、一人一人が「いじめを生まないために自分が取り組むこと」を宣言カードにまとめました。

今回の集会を通して、生徒たちは多様な考えに触れながら、自分の言動が周囲に与える影響について深く考えることができました。今後も、いじめのない安心・安全な学校づくりに向けて、全校で取り組んでまいります。



いじめ未然防止運動



生徒たちの宣言カードは、1階ホールに貼ってあります。

■二階堂蓮選手訪問

6月23日(火)、二階堂蓮選手の凱旋訪問が行われました。世界の舞台で活躍する選手を間近に迎え、生徒たちは大きな期待とともに温かい拍手で迎えました。

講話では「自分らしさを発揮する大切さ」や挑戦し続けることの意義について語られ、冬季オリンピックでの経験や日々の努力について具体的なお話をいただきました。また、「お悩み相談」では、生徒の質問に丁寧に答えられました。今回の訪問は、生徒一人一人が自分の目標を見つめ直し、前向きに挑戦していく意欲を高める貴重な機会となりました。



■御礼

5月25日(月)、学校菜園の土おこしを谷組様に行っていただきました。1年生技術科の植物栽培などで活用していきます。大変ありがとうございました。



深い学びの実現を図る総合的な学習の時間

■【2年生総合】木の加工現場見学

6月3日(水)、2年生は総合的な学習の時間において、森林環境学習の一環として校外学習を行いました。今回のテーマは「木のよさを生活に生かす」で、学校生活をより良くする木材製品の設計と製作を目的とした活動です。

当日は三津橋農産北町工場を訪問し、実際に使用する原木の選定を行った後、丸太が板材へと加工される様子を見学しました。生徒たちは、木の太さや状態を見ながら材料を選ぶ体験を通して、ものづくりの出発点となる素材選びの重要性を実感していました。また、工場内では機械による加工の様子を間近で見学し、木材が形を変えていく過程に驚きの声が上がりました。見学後には積極的に質問する姿も見られ、木材の特徴や加工の工夫について理解を深める貴重な機会となりました。

今回選んだ木材は、今後の創作活動に活用される予定です。生徒たちは、これまで考えてきたアイデアをもとに、木のよさを生かした作品づくりに取り組んでいきます。地域の産業に触れながら学ぶことで、木材の魅力や持続可能な森林の活用について考える学びが進んでいます。



■【1年生総合】ふるさとの森林から学ぶ ～森づくりと「森人」との出会い～

1年生は総合的な学習の時間において、「下川町の林産業の今昔を知り、これからの自分たちにできることを考える」ことをテーマに、森林環境学習に取り組んでいます。

6月5日(金)には、町内の森林を訪れ、人工林や天然林についての講義と見学を行いました。実際に森の中に入り、樹木の特徴や森づくりの違いについて学ぶことで、教室では得られない気づきが多くありました。

生徒たちは、森林が私たちの生活や地域産業とどのようにつながっているのかを実感し、「木を育てることの大変さ」や「森を守りながら活用する大切さ」について理解を深めました。



【ご協力いただいた方】

- 下川町役場産業振興課
森林づくり専門員 斎藤 丈寛 さん
- 林業事業者 田邊 大輔 さん
- NPO 法人 森の生活

生徒たちは6月23日(火)に、町内で森林に関わる仕事をしている方々(森人)を訪ね、インタビューを行いました。木材加工、アロマ製品の開発、薪づくり、自然ガイドなど、多様な立場で森林と関わる方々との出会いを通して、「森林の価値」や「働くことの意味」について学びを深めています。

今後は、今回の学びを整理・分析し、自分たちの考えとしてまとめ、発表へとつなげていく予定です。地域の自然や産業に触れながら、自分の将来やふるさとの未来について考える貴重な学びとなっています。



【訪問先・講師】

- 株式会社フブの森 田邊 真理恵 さん
- 下川フォレストファミリー株式会社 大岡 英則 さん
- 薪屋とみなが 富永 紘光 さん
- のらねこ屋(溪和森林公園) 藤原 佑輔 さん

■御礼

下川フォレストファミリーから高級割り箸といわれている「利休箸」を100膳、寄贈していただきました。給食等で利用させていただきます。ありがとうございました。



北部地区中体連大会

■中体連陸上大会

6月5日(金)、中体連陸上大会の中学男子400mに出場する1年生の平野陽琉さんを激励する壮行会を行いました。全校生徒で健闘を祈り、温かい拍手で送り出しました。

6日(土)大会当日、結果は第2位でした。最後まで力強く走り切り、練習の成果を十分に発揮するとともに、自己ベストタイムを更新する立派な走りでした。



■中体連地区大会

6月19日(金)・20日(土)に中体連地区大会が行われました。出場した選手たちは、これまで積み重ねてきた練習の成果を発揮しようと、全力で競技に臨んでいました。

なお、7月3日(金)から行われる上川代表決定戦に出場する皆さんには、体調管理を万全にして、それぞれの力を十分に発揮できることを願っています。



■ソフトテニス

○男子団体 準優勝 (上川代表決定戦進出)

○女子団体 優勝 (上川代表決定戦進出)

○男子個人

大岡・葦島ペア 2回戦惜敗

小林・丹野ペア 2回戦惜敗

上ヶ島・寺澤ペア 1回戦惜敗

○女子個人

黒川・大池ペア ベスト4 (上川代表決定戦進出)

菅野・野崎ペア ベスト8 (上川代表決定戦進出)

更谷・渡辺ペア 2回戦惜敗

長澤・田上ペア 1回戦惜敗

■サッカー (上川代表決定戦トーナメント)

○SSSC 2回戦惜敗

○名寄SC ベスト4進出 7/3 準決勝

■食育の取組

本校では、「食」に関する正しい知識を身に付け、望ましい食習慣を育むことを目的に、年間を通じた食育の取組を行っています。今年度も、下川小学校栄養教諭と連携しながら活動を進めています。

月に1回程度、給食時間の昼の放送を活用し、献立や栄養、食に関する話題について分かりやすく伝え、生徒が日々の食事に関心をもてるよう工夫しています。

また、年2回の食育授業では、1学年は「早寝・早起き・朝食の大切さ」、2学年は「成長期に必要な栄養」、3学年は「食と多様性」について学び、発達段階に応じて健康や生活、社会とのつながりについて考える機会としています。



■寄贈ありがとうございます

下川町民生委員の皆様より、本校に生理用品のご寄贈をいただきました。生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、温かいご配慮に心より感謝申し上げます。



7月の予定

1日(水) 安全点検日、全校朝会

3日(金) 上川代表決定戦(~4日)

6日(月) 宿泊研修結団式

7日(火) 宿泊研修(~8日)

9日(木) 2年生回復休業日

10日(金) 高校説明会(2・3年生対象)

13日(月) 職員会議

15日(水) 参観日

16日(木) 小中特別支援合同学習会

22日(水) 常任委員会

23日(木) 1学期終業式

24日(金) 夏季休業(~8月18日)、夏の二者面談(~28日)、諸費納入日、小中一貫教育全体会

